



**新津
中央**

コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219 Fax 0250-24-4229） 発行人：清野 展

特集 ～秋葉区地区懇談会報告～



- ◆ 平成25年7月17日（水）の午後2時から、新津地域交流センターにおいて、新津中央コミュニティ協議会と秋葉区役所との地区懇談会が開催されました。この地区懇談会は秋葉区役所が年1回、秋葉区内にある11のコミュニティ協議会との意見交換を目的に行っているものです。当日秋葉区役所から羽生区長さんをはじめとする各課の課長さん等14名が、また新津中央コミュニティ協議会からは各町内役員も含めて41人が出席しました。
- ◆ 羽生秋葉区長さんのご挨拶、平成25年度秋葉区的主要事業説明、当コミ協の活動紹介の後、協議が行われました。本年度は事前に各町内に行ったアンケート「町内が抱える課題」を集約して秋葉区役所に送り、各課長さん方から区としての対応を答えてもらい、さらに意見交換を行うという形で活発な協議が進行しました。
- ◆ 区役所が作成した議事録の要旨に基づき、この時の懇談会の概要を地域の皆様にご報告いたします。

平成25年度秋葉区地区懇談会 議事録要旨

I 安心・安全関係

■ 中沢町

年々、集中豪雨の度合いが増してきて、中沢町砂押し通りは以前より被害が多くなってきている。根本的な対策としては、秋葉山からの流水を直接新津川に放流するしかなく、大事業となる。区→市→県への働き掛けがなければ不可能な事業である。年次段階的な展開をお願いする。

■ 田家3丁目

道路と並行する箇所での田家川の蓋の設置をお願いしたい。また、河川の改修も合わせた対策をお願いしたい。

■ 田家2丁目

大災害時の情報連絡手段として災害無線の配備が急務だと思うが、区としての対応を伺いたい。

■ 善道町1丁目

自主防災組織を持たない自治会では、緊急時における要援護者の搬送用折りたたみリヤカーなど防災備品の購入負担が大きいのし掛かっている。購入に際し、補助金の適用拡大について伺いたい。

II 都市基盤・交通関係

(除雪について)

■ 吉岡町

幅2.8mの通学路50mは除雪車が入らないので、消雪パイプを埋設してほしい。

■ 田家1丁目

町内に道路幅狭隘ではあるが2t車が入れる市道が4路線ある。合わせて約400mは未除雪路線である。雪寒法の指定道路として除雪してほしい。

■ 田家2丁目

降雪時、消防車・救急車が入れない場所が出てくるが、融雪道路化が急務である。融雪道路設置の計画を伺いたい。

■ 田家3丁目

消雪パイプの設置をお願いしたい。道路が狭く坂も多い。また降雪量も多く、除雪も間に合わない時がある。この冬の除雪対策を伺いたい。

■ 秋葉2丁目

冬期間の除雪をお願いしたい。高齢化が著しく、また坂が多いため、除雪及び融雪剤の散布も容易でない。パナコスモ高橋から滝谷に通じる道路に消雪パイプの敷設をお願いしたい。

回答内容

〈下水道課長〉

● 新津川に流域外の水を取り込むということは、できない状況です。ただし、丘陵地からの雨水処理としては、大きな効果が見込まれることから、課題となる区域外流入に伴う現河川への影響について調査中であり、具体的な協議はその結果を待って行う予定です。市としても、河川放流を含めた様々な方策を検討し秋葉荘跡地や秋葉湖の貯留機能を活用した雨水対策を推進して参ります。



〈建設課長〉

● 田家川の上流部の田家神社の所の改修が残っていますが、費用対効果や緊急性・重要性から判断し、年次的に整備を進めております。



〈副区長〉

● 区としては、FMラジオによる緊急告知、広報車の増車、携帯電話による緊急速報メール、防災メール、データ放送で皆様に情報提供していきます。

〈副区長〉

● 現在、市では「自主防災組織」結成による地域防災の強化を推進しており、補助金も「自主防災組織」向けのものとなっております。中央コミ協は自主防災組織の結成率が低いので、組織結成に向け話を進めて参りたいと思います。



〈建設課長〉

- 田家の道路は狭く、救急車や消防車が入るのが難しい場所があります。道路の拡充から取り組む必要があると思います。
- 消雪パイプの敷設については、田家や秋葉からの要望が強いのですが、秋葉丘陵の所は掘っても水が出ません。消雪パイプの敷設は難しいかと思えます。
- 除雪については、自治会助成金の制度を利用し、除雪時間の変更で対応できる部分もあります。
- 融雪剤散布については、地元が難しい場合は業者対応になります。この冬に向け今後検討していきますが、思うように進まない部分があることもご理解いただきたいと思います。

■ 下興野町

市道本町北上線及び駅前下興野線は消雪パイプが敷設されているが、縁石があるため歩道が消雪されない。歩道除雪の業者委託をお願いしたい。

市道本町北上線の羽越線ガードから下興野22番14号までの間の消雪パイプの敷設をお願いしたい。

(道路舗装について)

■ 善道町1丁目

道路舗装の劣化が各所に見られる。陥没箇所など緊急を要する箇所はその都度補修していただいているが、道路舗装の改修計画について伺いたい。

また、道路の安全標示（減速表示、横断歩道表示）など更なる対策を伺いたい。

■ 吉岡町

幅2.8mの通学路と幅8mの道路の交差点に「止まれ」の標識を貼ってほしい。現在のものは見えなくなっている。

(交通状況について)

■ 本町3丁目1区

本町3丁目交差点の信号機の作動状況や交差点付近の危険性について秋葉警察署に話すことができるが、その状況を説明したい。

■ 下興野町

夕映えの跨線橋東詰交差点は洪水時、自動車の通行で側道に土砂降りのような跳ね水が降り注ぐ状態である。設計・施工上のミスと考えられるので、現地調査を行い改善を要望したい。

出席者からの要望や意見



■ 下興野町 阿部さん

児童の登下校となっている道路については、優先的に除雪していただきたい。また、フイシン踏切の車の交通量が多くなっている。該当道路を幹線道路にしていただき、消雪パイプを優先的に敷設していただきたい。



■ 中沢町 南沢さん

大雨の時、中沢町は洪水になるだろうと思う。中沢町の雨水の一部も処理できないのだろうか。中沢町を助ける方法を考えていただきたい。

■ 本町1丁目 神田さん

自主防災組織をもっていると、要援護者の搬送用折りたたみリヤカーについて補助金が交付されるのか。

■ 秋葉2丁目 吉田さん

地元のことを考えて、解決策を出してほしい。



〈建設課長〉

- 除雪については、秋葉区全域を見ながら、緊急性や費用対効果の大きい路線に絞り、年次計画により年1から2箇所工事となっております。道路の利用実態に基づき、設置場所を厳選しているため、なかなか新しい所に着手できないことをご理解いただきたいと思います。

〈建設課長〉

- 道路パトロールを通じて、道路状況を把握し、補修箇所の確認を行っています。また、皆様からいただいた情報を基に状況を確認し、対応を進めていきたいと思っております。
- 「止まれ」などの標識は交通管理者である公安委員会での設置になりますので、要望を伝えてまいります。

〈副区長〉

- 区としましても、地域のご意見として、秋葉警察署に伝えてまいります。

〈建設課長〉

- 道路パトロールの際に、雨水の流れを阻害している目皿に溜まったゴミを除去しておりますが、解決策として雨水が既存の側溝にうまく流れるように改善したいと思っております。

〈建設課長〉

- 除雪箇所については、現地を見させてほしい。消雪パイプについては、全体的な要望・計画の中で考えさせてほしい。



〈副区長〉

- 要援護者の搬送用折りたたみリヤカーについては、貸与という形で対応しております。

Ⅲ 生活環境関係

■ 本町3丁目1区 ■ 善道町1丁目

持ち主のはっきりしない空き家の樹木や草の繁茂に対し、隣接する住民から害虫の発生や防犯防災上の懸念が寄せられている。私有財産であることから対応も難しいと思われるが、取り壊しも含めた空き屋対策を伺いたい。

■ 下興野町

夕映えの跨線橋下道路には防犯灯が無く、暗闇状態で防犯上問題のある箇所です。国道460号（新津東バイパス）設置者に防犯灯の設置を働きかけていただきたい。



■ 本町3丁目1区

今年度より町内街灯のLED化が本格化するが、提出書類を出来るだけ簡単にしてほしい。



■ 田家1丁目

防犯灯に関する補助金の増額をお願いしたい。近年町内会計の収入の減少、支出の増加傾向のある中で防犯灯の維持管理費が全体支出の25%も占めるようになった。

Ⅳ 地域活動・コミ協活動

(お年寄りの見守り支援について)

■ 本町2丁目2区 ■ 本町4丁目1区

少子高齢化に伴う日常生活基盤の確保が大事である。

- ・向こう三軒両隣を基軸とした見守り体制の充実
- ・いきいきサロンの場の確保等

以上について、行政の支援体制を伺いたい。

■ 田家1丁目

高齢者や独居者世帯の増加によって、不測の出来事が生じやすくなっている。安心して暮らせるよう見回り支援が必要である。

〈副区長〉

- 昨年度、本市における空き屋の現状や課題を明らかにする目的で、市内16箇所のモデル地区を選定し、現地調査と空き屋の所有者に対するアンケートを実施しました。空き屋は、防犯・防災・環境・衛生など多くの課題を抱え、関係する法規も多岐にわたっているため、昨年度立ち上げました「空き屋に関する庁内連絡会議」において適正管理への誘導及び有効活用について今後検討していきます。

〈地域課長〉

- 道路沿いに設置する街灯には、道路交通の安全を図るための「道路照明灯」と防犯の観点から設置される「防犯灯」の2種類があります。



道路照明灯の場合、国道、県道、市道それぞれの道路管理者が、信号機や交差点、横断歩道がある道路に設置し、これを維持管理しております。

今回、ご指摘のありました市道については、信号機や交差点、横断歩道が無く、設置する街灯は「防犯灯」と位置づけられ、設置者は自治会・町内会となっております。防犯灯設置に伴う補助金の交付は、5月末日で締め切られましたが、緊急性を要する場合は地域課に相談下さい。

〈地域課長〉

- 防犯灯に関わる補助金として、「防犯灯設置補助」と「防犯灯電気料補助」があります。補助金交付執行上、必要な手続きを踏まえる必要がありますが、町内会長さんの負担軽減と事務効率の観点から、ご要望事項は市民協働課へ伝えてまいります。

〈地域課長〉

- 防犯灯に関わる補助金について、LED灯など環境配慮型を設置する場合、本年度より市が設置費用の3分の2を補助します。またLED灯の電気料は、今年度の9月より12ヶ月分を補助し、町内活動の支援に努めてまいります。町内会では、収入増が見込めない中で会計のやりくりで苦労されているようですが、防犯灯以外の補助制度もありますのでご相談下さい。

〈健康福祉課長〉

- 市では見守りのネットワークとして、地域住民や電気・ガス・水道などの協力事業者が高齢者の異変に気付いた時に、地域包括支援センターや区役所とも対応できる体制を整備しております。

また、公的な見守りだけでなく、自助・共助といった住民全体の見守りも重要になってきます。このような見守り体制を作るために、「助け合い、支え合い」の意識のもと、地域にあった見守り活動を、民生委員や秋葉区社会福祉協議会と共に支援しております。

また、高齢者が元気でお過ごしいただくために「いきいきサロン」のような場が必要であると考えています。区では、いきいきサロンで健康づくりの指導や保健指導を行う等、運営について支援を行っております。また、秋葉区社会福祉協議会では、新規事業に助成活動を行っていますので、ご相談ください。

■ 田家3丁目

高齢者の1～2人暮らしの世帯の増加で、我が町内では、実態把握のために、居住調査を実施する予定である。

■ 秋葉2丁目

高齢者（65歳以上42%）及び一人住まいが多い当町内では、災害時及び毎冬の雪への対応をもっと明確にしていかなければならない。町内には土砂災害防止法指定区域が含まれ、ほとんどの道路が坂道で狭隘である。

（隣組組織の再編について）

■ 田家3丁目

隣組組織の再編について、世帯数の減少により隣組組織の維持が難しくなっている。

防災組織をしっかりとするためにも、不可欠である。

V 地域活動・コミ協活動

■ 本町1丁目

わが町内の道路は何十年前に決められた18m道路にするという都市計画が存在し、今もその条件が生きている。しかし、何十年経ってもその計画は達成されず、見直しもされていない。

■ 本町2丁目2区

駅前通り商店街の再アーケード化について、行政の支援はないのか。



出席者からの要望や意見



■ 下興野町 酒井さん

要望を出している箇所には、町内会として防犯灯を設置している。しかし、夕映えの跨線橋下は本当に暗く、町内会での設置はできるのかというのもある。道路照明として設置してほしいというのが要望である。

〈健康福祉課長〉

● 市では災害時に、避難に助けが必要な人が安全に避難出来るように地域で助け合う「災害時要援護者登録制度」を進めております。本人の申請により作成した名簿を、あらかじめ地域の自主防災組織や援護体制の整った町内会、民生委員、介護サービス提供事業者提供し、いざという時に、迅速かつ的確な援護体制がとれるよう依頼しております。



毎冬の雪への対応ですが、大雪時には、大雪相談窓口を開設しております。独り暮らしの高齢者世帯などで屋根の雪下ろしを希望される方には、有料ではありますが雪下ろし事業者を案内しております。また、玄関周辺の除雪など、大雪による困りごとがありましたらご相談下さい。

〈地域課長〉

● 一つの事例を紹介しますと、平成24年度から、小須戸地区では、自治会・町内会の再編が見られ、小規模の自治会・町内会同士が一緒になり、組織基盤の充実を図っております。新津地区では、これまでの歴史や地域性、住民意識等から難しい面もあるかと思いますが、今後地域の中で議論になる要素はあろうかと思いますが、隣組再編について相談したいことがありましたら、地域課までお願いします。

〈建設課長〉

● 一昨年頃から20年以上未着手の路線を対象に「都市計画道路の見直し」に着手しております。ご指摘の、新津駅前から中新田へ行く道路ですが、部分的に見直しが行われ、本町交差点までは16m道路となっております。本町交差点から新町大橋までは18m道路となっており、その先は整備されず、見直しの対象になるかと思いますが。

〈産業振興課長〉

● アーケード再建に対する行政の支援についてですが、新潟市として「商店街環境整備事業」という補助制度があり、補助対象経費の30%（上限2億円）の助成が可能です。しかし、駅前商店街では、アーケードの維持管理のお金を地域の活性化事業に活用したい意向と伺っております。



区としては、新津鉄道資料館の駅中サテライトを活用した駅前の賑わいや、鉄道をキーワードとした地域の活性化、交流人口の増加といった面で支援していきたいと考えています。

出席者からの要望や意見



■ 下興野町 阿部さん

下興野町第3幼児公園は、休みになると多くの子供が利用し、水を隣近所から借りている状態である。予算もあると思うが、水道の設置を一番に検討してほしい。



■ 本町2丁目 時田さん

新津川除草をいつになったらやるのか見ていたが、公園を整備した後の維持管理の予算は計上しているのか。除草はしっかり対応していただきたい。



■ 本町2丁目 塩田さん

お年寄りのことも考えて、新津地域交流センターに期日前投票所を開設してほしい。

〈建設課長〉

- 現地を確認すると共に、地元の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



〈建設課長〉

- 除草は年1回位やっております。市で管理するところは対応していきますが、それ以外のところは県と協力してやっていくことになります。予算は全体の中で対応していくことになります。



〈副区長〉

- 選挙管理委員会と要望を話しながら、委員と意見を交わしていきたいと思っています。

「史跡を訪ね歩こう」に参加してみませんか



日時	10月27日(日) 午前8時30分～午後3時頃 ※雨天決行とし、参加は当日各自判断下さい。
集合場所	新津地域交流センター
コース	新津地域交流センター～新津川～ 一の堰～小口若宮廟～熊沢公園～ 秋葉山(昼食)～新津地域交流センター
持ち物	動きやすい服装、歩きやすい靴、昼食、飲料、 タオル、筆記用具、雨天の場合は雨具

【編集後記】

コミ協だより第18号をお届けします。今回は7月に行われた地区懇談会の内容を区の担当者からの議事録要旨を基に編集しました。質疑応答の内容が、災害対策、道路除雪・道路舗装、生活環境、お年寄りの見守り支援等を取り上げており、皆様にとっても関心の高い話題であったのではないかと考えております。少子高齢化が進む中で、今後こうした問題が一層深刻になることが予想されるので、是非皆様方からも一緒になって考えていただければと思っております。

9月と10月はコミュニティ協議会の活動も、新津川の除草、心地よいウォーキングを学ぼう、親子料理講習会、濃煙テントでの煙体験など多彩に実施されておりますので、次号も豊富な話題でお届けできるのではないかと考えております。
(広報部副部長 小野澤 記)

(注) 新津中央コミュニティ協議会の各種事業は、主に新潟市からの補助金により賄われています。